

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	1 拠点を結ぶ円滑な公共交通
----	----------------

施策の目的	快適で質の高いまちの拠点や拠点間等の交通環境の充実により、新たな交流と活力を生み出し、活発な経済活動や安心・安全な市民生活の実現を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 松浦正裕

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得たことにより、会議において目的や成果の共有化が図られたことや、静岡鉄道における交通結節基本構想案を作成し、持続可能な公共交通網の構築が進捗したことにより、成果指標を達成したため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	成果指標	公共交通の利用者数 （1日平均乗車人数 ※乗車のみ）	201,059人/日（H24） JR：97,715人/日 静鉄：30,278人/日 バス：73,066人/日	1	192,170	195,670	102%	a
2				—	—	—	—	
3				—	—	—	—	
4				—	—	—	—	
1								
2								
3								
4								
指標以外の成果				1				
				2				
				3				
				4				

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
総合交通計画の推進事業	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得た。	1	1	614	0	614	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
追分・大坪駅設置検討事業	静岡鉄道における交通結節基本構想案作成の業務委託を実施した	1	1	3,495	7,981	11,034	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
バス路線網再編事業、路線バス維持対策事業	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得た。	1	1	614	0	614	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	今後も持続可能な公共交通網を構築する必要がある	地域公共交通会議を計画通りに開催し、地域公共交通網形成計画の進捗管理および短期実施計画の見直しを実施するとともに、基本構想案の実現に向けて、関係機関との協議を実施し、今後のMaaS実証実験の結果等も反映させていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	2 公共交通が利用しやすい環境の充実
----	--------------------

施策の目的	利用者の安全性や快適性の向上を図るため、鉄道駅のバリアフリー化や超低床ノンステップバスの導入など、誰もが安全で利用しやすい交通環境の充実を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 松浦正裕

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	JR由比駅のバリアフリー化を完成させ、バスについても、路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保した。また、交通弱者対策としても、支援するNPO法人の個別の地区への説明や、社会福祉協議会実施の運転ボランティア講座等での周知を行ったことにより、成果指標を達成したため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	バリアフリー化が必要とされている鉄道駅のうち実施されている割合	87%【13/15駅】	1	93%【14/15駅】	93%【14/15駅】	100.0%	a	
2			—	—	—	—		
3			—	—	—	—		
4			—	—	—	—		
指標以外の成果		1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
鉄道駅バリアフリー化の推進事業	JR由比駅のバリアフリー化を完成させた。	1	1	42,000	10,485	45,106	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業	JR由比駅のバリアフリー化を完成させた。	1	1	42,000	10,485	45,106	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
バス利用促進事業	路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保した。	1	1	10,700	0	10,451	1.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
地域交通弱者対策事業	個別の地区への説明や、社会福祉協議会実施の運転ボランティア講座等での周知を行った	1	1	340,674	0	340,577	1.5	0.0	0.0	△
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	今後も市民の足となる生活交通の確保、安全な輸送の確保、交通弱者の移動手段の確保が必要	山間地路線（安倍線等）の効率的な運行再編を推進するとともに、制度を活用して老朽化の進んだ設備の更新等を促進し、交通弱者への生活交通の確保のため自治会等への周知を図るとともに、個別の地区への説明、支援を継続的に行っていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	3 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備
----	------------------------

施策の目的	平成27年3月に策定した「静岡市自転車利用計画」に基づき、「健康の増進」、「環境負荷の軽減」、「利用の促進」、「賑わいの創出」、「モラルの向上」、「プライドの確立」を基本目標とし、ハード、ソフト、マインドの各分野での施策（43施策）を実施することにより、「世界水準の自転車都市『しずおか』」の実現を目指すことを目的としています。
-------	--

評価責任者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 松浦正裕

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	計画通り自転車の魅力向上イベントを開催し、集客目標人数を達成したことや、計画通り自転車サポーターを25団体認定したことにより、成果指標を達成したため
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	1,460	596	245.0%	S	
成果指標	まちなかにおける放置自転車台数	1,956台 (H25)	2	—	—	—	—	静岡市自転車利用計画の評価指数の中から、毎年度測定可能な指標を活用 まちなかの放置自転車台数（静岡駅周辺及び中心地） 平成25年度 1,956台⇒平成30年度 1,560台⇒令和4年度 1,170台 ※目標値については、「静岡市自転車利用計画」（計画期間：年度から年度）に定めた指標であるため、計画の見直し時期に合わせて、指標の見直しを行う予定
			3	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	
			1					
成果指標			2					
			3					
			4					
			1					
指標以外の成果			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
自転車利用計画推進事業	①「サイクルフェスin東静岡」を実施し、2507名が参加 ②自転車サポーターを25団体認定	1	1	7,066	0	7,051	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・今後も「世界水準の自転車都市しずおか」の実現を目指した取り組みを実施する必要がある	・サポーター制度認定事業者のメリットとなるイベントの開催形態を検討 ・参加者層の拡大を目指す
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—